

受け継がれる「共育」の理念 ～共に学び合い育ち合う地域づくり～

※世帯数及び人口は令和 4 年 4 月 1 日現在

中区	小学校区・地区名	財田学区	世帯数	4,947 世帯	人口	10,020 人
----	----------	------	-----	----------	----	----------

■組織概要

岡山市中心部の東口にあたり、国道 250 号線沿いには大型商業店舗や物流施設が立ち並ぶ。交通量が激増する中で、財田学区共育推進・安全安心ネットワークは通学路の安全を見守る活動から始まった。子どもたちの成長に注がれるまなざしは地域活動全般と波及し、学校や保護者・ボランティア・関係団体が連携。交通安全・防犯の協力体制が強化され、子育て情報交換や子どもを主体におく行事にも発展した。組織の軸となる「共に学び合い育ち合う」理念が受け継がれ、世代をこえた地域の共助が広がっている。

■活動紹介

【通学見守り・犯罪抑止活動】



(写真 上・登下校の見守り 下・ありがとう集会)

有志ボランティアによる見守りや声かけによって、子どもたちの安全が支えられ、学校や保護者から厚い信頼が寄せられている。毎年 2 月に小学校で開かれる「ありがとう集会」では、学童からの感謝が伝えられる。



【地域活動の充実】

① 地域福祉

福祉交流プラザや児童センターなど地域福祉の拠点となる施設が多くあり、各団体の活発な活動が行われている。

② 防災

百間川流域の平野部にあり水災害に備えている。自主防災会の設立が進み、地域防災力の強化を図っている。

③ 財田ふれあい夏祭り（区づくり事業）

平成 29 年、財田小学校を会場にかつて行われていた夏まつりが再興された。子どもから高齢者まで幅広い世代が住民同士の交流を深めている。



(写真 夏祭り会場のにぎわい)



■今後の展望

「財田ふれあい夏祭り」は復活以来、年々参加者も増加していった中で新型コロナウイルスにより 3 年間の中止を余儀なくされています。しかし次回開催に向け「多世代や多国籍交流」また「地域のつながり」といったテーマに基づいた内容を充実させ、財田学区の夏のお祭りとして定着するよう努力して参ります。

共育推進活動

子育て世代と地域団体・学校関係者・ボランティアらによる共育推進委員会では子どもを取り巻く環境や諸問題を共有し情報交換が図られる。

地域・学校・保護者等が連携協力して「共育（地域協働学校）」に取組み、「ふれあいキャンプ」や「財田っ子広場」など地域住民と子どもたちが共に学び体験する様々な活動が受け継がれている。



(写真 上・ふれあいキャンプ 下・財田っ子広場)